

2022年度 学校関係者評価報告書

学校法人聖心学園 聖心学園幼稚園

1、本園の教育目標

カトリックの「愛の精神」を基本に、優しい心・思いやりの心・感謝する心を大切にする

具体的目標

- ・落ち着いて考える子ども
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども
- ・粘り強くやり抜く子ども

2、本年度重点的に取り組む目標・計画

①学びの基礎力を育てる

②自他ともに大切にする気持ちを育む

絵本を通じた教育活動

- ・言葉を習得する
- ・想像力を高める
- ・共感力を培う
- ・集中力を養う

3、評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1	計画的な教育活動	日々の遊びを充実させ、継続的に取り組めるよう事前の準備と計画をできるだけ丁寧に行うよう心がけた。
2	個別の対応	一人ひとりとじっくり向き合い、丁寧にかかわることで、自分が大切にされていると気づくきっかけとなった。
3	絵本について理解を深めるため、園内研修を充実させる	絵本の良さを知り、クラスでの遊びや、日々の生活に絵本を取り入れるため、教員が学ぶ機会を設けた。また、さまざまな絵本に触れることで、クラスでの活動の幅を広げるよう努めた。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

重点目標と計画について、全教員が認識し、自己点検・自己評価に取り組むことで自ら保育を振り返るばかりではなく、様々な課題を見出すことができた。今後もより良い園経営のために継続して実施していくことを共通理解した。

5、今後取り組むべき課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	指導計画	月案会議等、全体で計画の確認を行うようにする。実効性のある立案により、日々の保育の充実と仕事の効率化を図る。
2	保育の質の向上	教員の積極的な研修参加により、特別支援を含めた個別対応の能力を向上させる。また、併せて保育活動の幅を広げる足掛かりとする。
3	教員の連携	幼児の育ちと、その家庭の支援を保障するため、終礼等で情報の共有をする。日々の保育活動や保護者対応について、共通理解を図る。

6、学校関係者評価委員会の評価

・保護者アンケートでは、保護者からの要望に対して、園から極めて適切な対応がなされています。

自己評価では、先生方の実行の伴う熱心で前向きな姿勢が明らかです。

特別支援が必要な子どもたちがいる中で、子ども主体の保育を大切にされていることは素晴らしいです。東京保育専門学校でも、学生主体の学びの場の構築を目指します。

学校評価委員 松本勲武

・保護者からお子さまの様子、園に対しては、良い印象を持っていただいているように感じました。コロナ禍ではありましたが、園の保育が評価されていると思います。

・教師側の課題等では、保育環境をもっと整えた方が良いという思い、研修、研究に時間が費やせないというところがあるようですが、研修や研究への参加は、保育者自身の成長になり、その成長は、良い環境や時間の有効活用も出てくると思います。

・残業、仕事量の改善は、行事や日々の保育の見直しで、早く改善されると良いですね。

学校評価委員 相馬 たゑ子

・大多数の保護者が「幼稚園に安心して通っている」そして「園は子どもを愛し大切にしている」と回答していることは、日ごろから先生方の献身的な保育の賜物と思います。また、保護者の質問に丁寧に回答している点からも、上記のような評価を得ているのだと思いました。

学校評価委員 松浦栄子